

# シリーズ 町長室からの便り

認知症… 他人事ではありません

— 人権啓発事業 —

2月18日(月)に人権啓発事業として、保健福祉センターホールにて「認知症介護からおこる虐待とは」についての講演がありました。

講師として、認知症の人と家族の会三重県支部代表の泉美幸さんより講演していただき、色々な体験談を話していただきました。

数年前は4人に1人はガンの発症の心配があると言われていましたが、今は認知症の発症も同じくらいあると言われてきているようです。

泉さんご自身の家族の介護体験を基に話をしていただきましたので、認知症そのものが具体的にどんな形で現れるのか、また、長期にわたる介護がどれほど大変だったかをリアルに聞くことができました。

認知症の方は感情やプライドはご本人の心の中で持続されています。心の介護を心がけ、まずは認知症の方を理解する事が必要と学びました。

— 介護する家族の大変さ —

— 介護の主な苦労

- ・ 病氣として受け入れられなく、受診・治療への決心がつかない。
- ・ 認知症を隠す。
- ・ 心にゆとりがなくなる。
- ・ 介護を1人で抱え込み、無理をする。
- ・ 身体的、精神的に負担とストレスが溜まる。
- ・ 病状の理解が不十分であると、認知症の病状に振り回され、精神的や肉体的に疲労が溜まり、認知症の方を拒否しようとしてます。「自分だけがなせ」と苦勞を理解してもらえないことを腹立たしく思い、孤独になったり、拘束・虐待への葛藤につながる場合があります。

その結果、介護拒否や家族崩壊になる場合があります。家族で協力して乗り越えて行かなければならないと話していただきました。

今回の講演を聞き、あらためて人権を守ることはどういったものか、認知症の方も介護される方も安心して暮らせるまちづくりの必要性を学ばせていただきました。

格差社会の拡がりがあります。深刻度を増しているにもかかわらず、国の政治は良くありません。

介護のために歯をくいしばって頑張っている方のためにも、安心して暮らせるまちづくりを頑張りたいと思います。



(講演を真剣に聞く参加者)



(講演していただいた泉さん)



## 朝日のチカラ

～各地区まちづくり協議会の紹介～

### 朝日ヶ丘

まちづくり朝日ヶ丘協議会は、平成17年度に地域間交流として岡山県鏡野町へ研修に参加したのが出発点でした。その後、天神山整備及び子ども見守り隊をメインとした活動に取り組み、今年度には、まちづくり拡大・緊急マップ作成事業を新たに追加しました。

天神山事業は、昨年の台風で一部崩落し、補修完了まで一年間の事業停止をやむなくされましたが、子ども見守り隊は、活動当初からPTA会員にもメンバーに入っただき継続しています。また、まちづくり拡大や緊急マップ作成についてのアンケートを昨年10月に実施し、265世帯に配布したアンケートの回収率は28%でした。回答で多いのが街灯の設置問題です。これらは区と相談しながら進める必要性を感じています。その他多くのご意見をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。

来年度は、天神山整備をメインに活動を進めていきます。天神山散策道から縄生廃寺、そこから白梅へ抜ける「歩け歩け大会」を計画できたらいいなと考えています。



(子ども見守り隊事業)



(配布した情報紙やアンケート)

【平成19年度事業】天神山散策道整備事業、子ども見守り隊事業、緊急対応マップ作成事業、まちづくり拡大戦略事業